

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		ボランティアの慰問など外部との交流が受動的なものがほとんどなので、発展性に乏しい。利用者の社会貢献も考え、やり甲斐のある活動が必要である。	こちらから利用者の方が外部へ発信できるような環境を準備する。楽しみややり甲斐のある活動を通し、地域交流を図る。	おりがみの得意な利用者の方の作品を小学校の生徒にプレゼントをする。展示等も考える。緊急時の避難先を訪問し面識のある関係を作る。地域の清掃活動への参加。	12 か月
2		災害時における地域との協力体制の構築。	上記とも関連することだが、地域に災害時要援護者がいる施設であることを知ってもらう。普段から交流を図り、よい関係を築いておく。	地域の消防団と面識のある関係を作る。来所してもらい、施設の間取りなどをみてもらう。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。